

夏季賞与(一時金)の決定状況 《最終集計》

本協会が実施した夏季賞与・一時金の状況調査結果(最終集計)では、報告のあった81社の支給額平均は466,288円で、前年度に比べ2,328円、0.5%の増加となり、僅かながら4年連続で前年実績を上回った。

業種別では、製造業が17,953円、3.3%前年実績を下回った。マイナスは4年ぶり。化学は2桁の伸びだったが、電気機器などのマイナスが響いた。

非製造業では5,370円、1.3%の増加となり2年続けて前年を上回った。運輸・通信が2桁増加でけん引した。

規模別では、従業員200~499人の区分でプラスとなったが、それ以外の区分では前年に比べ減少した。

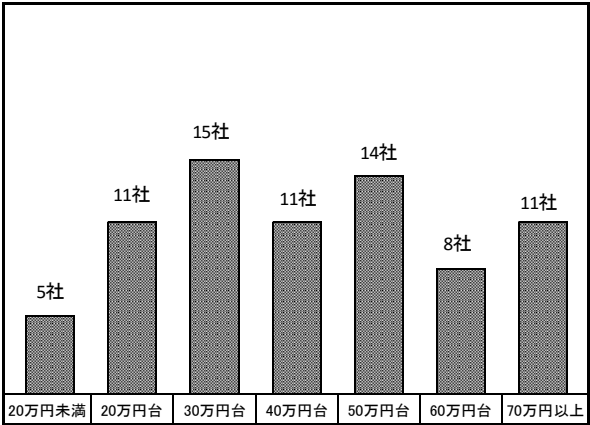
支給額の分布では、30万円台が最も多くなった。次いで50万円台だった。

70万円以上支給した11社中4社は県外本企業だった。また、70万円以上の企業を業種別にみると9社が製造業だった。【別表1】

前年度の支給額と比較可能な77社について、増減率をみると、前年を上回った企業が29社だったのに対し、下回った企業は24社となった。前年と同額の企業も24社だった。【別表2】

【別表1】

支給額の分布



平成28年夏季賞与一時金決定状況

業 種	夏季賞与			
	社数	月数	金 額	昨年比(%)
製造業計	40	1.95	517,987	-3.3
化 学	14	2.23	631,973	23.6
機械金属	9	1.87	502,765	-0.5
食 品	3	1.94	449,377	4.2
繊維・染色	2	0.70	268,642	-0.1
電気機器	5	1.73	448,681	-5.6
その他	7	1.77	476,018	2.8
非製造業計	41	1.71	413,230	1.3
運輸・通信	14	1.79	407,137	13.4
金 融	3	2.02	—	1.0
卸・小売	10	1.65	422,586	0.4
土木・建設	4	1.76	461,669	1.6
その他	10	1.58	387,082	4.3
全平均	81	1.83	466,288	0.5

※「-」は金額等を伏せているが、全体の平均には含まれる。

【賞与・規模別】

規模別	社数	月数	金 額	昨年比(%)
100人未満	30	1.63	414,739	-0.2
100~199人	24	1.83	440,220	-3.4
200~499人	12	1.85	468,035	6.4
500人以上	15	2.22	661,847	-2.9

【別表2】

増減率(対前年)の分布

